

音楽は語る

仲道郁代

が紐解く

作曲家が描いた
愛と夢

シューマン × ブラームス × ベートーヴェン

シューマン：子供の情景 op.15

ブラームス：「6つの小品」より 間奏曲 イ長調 op.118-2

ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ 第14番 嬰ハ短調 op.27-2 「月光」

シューマン=リスト：献呈 S.566 R.253

シューマン：謝肉祭 op.9

©Tomoko Hidaki

[ピアノ] 仲道郁代

2026 2.11 (水・祝)

14:00開演 (13:00開場)
全席指定 5,000円(税込)

ザ・シンフォニーホール

主催：ザ・シンフォニーホール

プレイガイド

■e+ (イープラス) <https://eplus.jp/symphonyhall/> (パソコン・携帯)
■ローソンチケット <https://l-tike.com/symphonyhall/> [Lコード: 52555]
■チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/symphonyhall/> [Pコード: 302-074]

ご予約・お問合せ

ザ・シンフォニー チケットセンター
06-6453-2333 (火曜定休)
<https://www.symphonihall.jp>

詳細はこちら



*未就学児のご入場はご遠慮いただいております。*やむを得ない事情により、出演者、曲目、曲順が変更になる場合がございます。予めご了承ください。*公演中止・延期の場合を除いて、チケット代金の払い戻しは承りません。

音楽は語る～

仲道郁代が紐解く 作曲家が描いた愛と夢

人は誰でも夢を見る。夢が紡ぎ出す幻想の世界が音楽家たちにとって大きな主題になったのはロマン派時代だった。シューマン、ブラームスは音でしか表現しえないファンタジーの世界を探究しつづけた。そしてそんな彼らの傑作を通じて私たちが唯一無二の世界へとといざなってくれるのが、日本を代表するピアニストの仲道郁代である。

2026年2月11日のリサイタルのタイトルは、「音楽は語る～仲道郁代が紐解く作曲家が描いた愛と夢」。仲道は古典から現代まで守備範囲の広いピアニストであるが、ドイツ・ロマン派は彼女がずっと磨き上げてきたレパートリー。深みのある音色と絶妙なタッチによって、シューマンの《子供の情景》《謝肉祭》、そしてブラームスの《間奏曲》に加え、ベートーヴェンの《月光ソナタ》も取り上げられる。シューマンが妻クララに捧げた崇高な愛に満ちた歌曲《献呈》のリストによる編曲版はことのほか心に沁みる名演になるだろう。

文:伊藤制子

仲道郁代 Ikuyo Nakamichi, Piano

第51回日本音楽コンクール第1位、ジュネーヴ国際音楽コンクール最高位、メンデルスゾーン・コンクール第1位、エリザベート王妃国際音楽コンクール第5位入賞。これまでに、マゼール指揮ピッツバーク交響楽団、バイエルン放送交響楽団、フィルハーモニア管弦楽団、ズッカーマン指揮イギリス室内管弦楽団(ECO)、フリーベック・デ・ブルゴス指揮ベルリン放送交響楽団、P.ヤルヴィ指揮ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団、ヤーノシュ・コヴァーチュ指揮ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団、ケン・シェ指揮バンクーバーメトロポリタンオーケストラなどと共演。CDはレコード・アカデミー賞受賞CDを含む「仲道郁代ベートーヴェン集成～ピアノ・ソナタ&協奏曲全集」、指揮活動を引退した名匠・井上道義氏と自身初となるモーツァルト協奏曲の録音「ザ・ラスト・モーツァルト」等をリリース。著書に『ピアニストはおもしろい』(春秋社)等がある。2018年よりベートーヴェン没後200周年の2027年に向けて「仲道郁代 The Road to 2027 リサイタル・シリーズ」を展開中。一般社団法人音楽がヒラク未来代表理事、一般財団法人地域創造理事、桐朋学園大学教授、大阪音楽大学特任教授。令和3年度文化庁長官表彰、ならびに文化庁芸術祭「大賞」を受賞。

オフィシャル・ホームページ <https://www.ikuyo-nakamichi.com>



©Kiyotaka Saito

熱狂コンチェルト 2026

2026 2.7 (土) 14:00開演(13:00開場)

ザ・シンフォニーホール 主催:ザ・シンフォニーホール

S 8,800円 A 7,700円 B 6,600円(全席指定/税込)

オール・ラフマニノフ・プログラム

ピアノ協奏曲 第3番 ニ短調 op.30 松田華音

ピアノ協奏曲 第4番 ト短調 op.40 福岡洸太郎

パガニーニの主題による狂詩曲 op.43 上原彩子



©Akira Muto

©Ayako Yamamoto

[指揮] 飯森範親

[管弦楽]

日本センチュリー交響楽団

©Shuga Chiba

松田華音

上原彩子

福岡洸太郎